

(A スタート部門)

新潟ろうきん福祉財団 2024年度NPO等地域活動団体助成応募申込書

※10ポイント以下にしないこと。4ページ以内でおさめること。
ホチキスとめやファイルにとじない。両面、片面どちらでも可。

1. 団体概要

フリガナ	オチャノマ テツガクテイ アニマンマ			
団体名 (法人格など省略せず、正式名称)	お茶の間 哲学亭 あにまんま			
住所	〒953-0104 新潟(市)・町・村 西蒲区 岩室温泉 166-2			
代表者	役職	代表	氏名	佐々木寛和(ささき かな)
	携帯電話	070-1272-6181	固定電話	なし
問合せ責任者	役職	同上	氏名	同上
	携帯電話		固定電話	
メールアドレス	sasaki.kanna2000@gmail.com			
設立年月	(1) 法人の場合 法人登記の日 年 月 日 (2) 法人格を有しない任意団体の場合 定款、規約を最初に定めた日 2024年 2月 29日			
会員数	個人会員 人、団体会員 人、その他会員種別 人			
年間の収支 (※直近のもの)	収入(万円) 主な収入() 支出(万円) (内事業費 万円、管理費 万円)			
団体の目的	畜産体験や動物との交流を通して、自らの「命」や「食」を考える人のネットワークを構築すること。特に、畜産を通じて「子どものための哲学」を実践する。この活動は、結果として就農人口の拡大や、地域おこしに貢献できる人材の育成に寄与できるものとする。			
団体の直近の事業・活動の内容	当団体は、2021年4月に設立した「岩室シェアハウスとも家」の農業部門として2024年3月に独立した団体である。西蒲区の岩室温泉地域において2021年4月から、畑作農業、2022年4月から養鶏、2023年からは水田稲作を行っている。当団体の母体である「岩室シェアハウスとも家」では、農作業を通じて地域に多様な世代の交流を生むべく、学生ボランティアとともに地元農家の協力を得て、継続的な岩室地域の関係人口の創出を行ってきた。代表者は2022年度・2023年度には岩室中学校の総合学習における「コミュニティ・ティーチャー」として、生徒の受け入れを行った。			
過去3年間の主な助成金実績 (ない場合は空欄)				
ホームページ	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある (https://ochanomaanima.wixsite.com/~-----animanma)			
SNS	団体のアカウントがあるものについて <input checked="" type="checkbox"/> してください(複数可) <input type="checkbox"/> Twitter <input type="checkbox"/> Facebook <input checked="" type="checkbox"/> Instagram <input checked="" type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> その他()			

2. 応募事業の内容

<p>事業名 40文字以内で記載</p>	<p>手作り家畜小屋での畜産体験と生産物の加工を通じた「命の授業」の実施</p>
<p>助成金申込金額</p>	<p>20万 円（千円以下、端数切捨て：上限30万円）</p>
<p>応募事業の目的</p>	<p>本事業では、小中学生を対象に、畜産の重要性を伝えるとともに、自らの命が他の生命を「殺す」ことによって成り立っていることの重みを考える機会を創出することを目指す。また、既存の経済効率を最優先にする畜産とは違った、アニマルウェルフェアの視点に立った新しい畜産を知ってもらい、最終的には、地域の畜産振興に寄与することを目指す。</p>
<p>事業の背景・動機 本助成事業を考えるに至った背景や、なぜ団体が応募事業を行う必要があるのかを記載。</p>	<p>本団体の代表者は、コロナ禍以前、東京で大学生活を送っていたが、それまでの食べ物との違いに驚くと同時に、今まで当たり前だと思っていた「生き方」に疑問を持った。そこで大学3年の春から岩室温泉地域の若者の活動拠点として「岩室シェアハウスとも家」を開き、関係人口増加を目指して耕作放棄地で農業を行ってきた。人口減に直面する地方農村は、耕作放棄地などを有効活用することで、都会や大学では学べない生きる力を学べることを自ら体感した。特に、畜産は、命そのものに直接触れるものであり、農を知るための第一歩として最適であり、若者（小中学生）を対象にした教育の場として有効活用することで、地域の活性化にもつながると考えた。そのためには、子どもが安全に動物と触れ合えるスペースが必要であり、本団体の自己資金では賄えないため、また、子どもたちに指導する畜産の専門家を招聘するため、貴団体の助成金に応募した。</p>
<p>事業の内容 「いつ、どこで、なにを、誰に、どのくらい、どのように」事業を展開するのかについて、記載。また、これまで行ってきた事業・活動との違いとして、どの点が新しい試みであり、チャレンジなのかについて、記載。備品を購入する場合、使用目的、用途、頻度、数量など記載。講座・研修などの場合、講師依頼団体や講師名など記載。</p>	<p>〈概要と新規性〉 本事業では、主に近隣の岩室小・中学校の生徒を対象に、年数回の長期休暇中の畜産体験（ニワトリ・ヤギの世話や鶏卵収穫、搾乳体験）、生産物を利用したお菓子作り・試食会、講師を招聘しての畜産関連のセミナーなどを行う。レジャーとしての畜産体験を行う施設はあるが、本団体の新規性は、参加者が地元の小中学生であるため、継続的に畜産体験を提供できる点である。単に動物に触れ合うだけでなく、実際に自分たちで世話をし、その生産物を加工して食べるという一連の経験は、レジャーとしての体験とは異なり、責任感の伴うより能動的な姿勢を要求される。このような濃密な経験は、食や命についての深い内省につながり、教育効果が高いと考える。 さらには、これまで当団体が農業を通じて築いてきた地域ネットワークの中に、地元の小・中学生を巻き込んでいくことで、世代間、地域間の交流を促進し、地域の活性化につながる。イベント型の単発的な「人寄せ」事業ではない点も新規性があり、安定的な地域創生のパイロット事業としての意義もあると考える。</p> <p>〈内容詳細〉畜産体験・セミナー</p> <p>① 参加者・対象者 畜産体験とセミナーの実施は、主に西蒲区の小・中学校（小学3年生～中学3年生）の生徒を対象とする。実施場所は岩室温泉ある畜産小屋と放牧場、セミナー室を予定している。</p> <p>②実施時期 小・中学生の夏季長期休暇中（8月～9月）に2回、 春季長期休暇中（2月～3月）に1回実施する。</p> <p>③実施内容 2日構成のイベントとする …1日目… オリエンテーション：動物と接する際の注意点・このイベントの要旨などを説明し、軽いアイスブレイクを行う。 畜産体験：搾乳・採卵・餌やりなどを解説しながら実際に体験してもらう</p>

	<p>お菓子作り&試食：持ち帰ったその日の卵やヤギミルクを加工し、それを用いたお菓子作りを行う</p> <p>…2日目…</p> <p>セミナー：講師 加茂農林高校教師 堀内 一徳（ほりうち かずのり）先生による畜産の心得、現状、農林高校で教えていることなどを中心にお教えいただく。その後、参加者同士のインタラクティブな対話の時間をつくり、これからの畜産の在り方や、人と動物との関係性、命の大切さなどについて議論する。</p> <p>※講師について：かねてより当団体の畜産・農業について協力をいただいている専門家であるため、小中学生に向けた出前授業の講師、当団体のアドバイザーとして招聘する。</p> <p>畜産体験：講師のお話や、参加者同士の対話を踏まえて、もう一度動物たちの世話や見学をしてもらう。</p> <hr/> <p>以下にイベントのために購入を予定しているものを記す。なるべく自家製のものや無料のものを使用し、経費の削減を目指す。（詳細は収支計画にて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バター（生産物の調理用 1箱×3回） ・小麦粉（生産物の調理用 1kg×3回）※自家製米粉で代用する場合は購入しない ・お茶（調理後の試食会用 1箱） ・調理器具（生産物の調理用 こし器 2コ、ヘラ 3本、オープン 1台） ・軍手（子供体験用/家畜小屋建設作業大人用 あわせて 10組） ・つなぎ（家畜小屋建設作業大人用 2着） ・建材（小屋建設用）※大部分は無料で入手できる予定なので不足分のみ購入 ・金具・釘（小屋建設用）・工具（小屋建設用 1台） ・プリンター用インク・用紙（広告作成 100部×5回程度） ・カラー印刷費用（同上）※地域の商工会のプリンターを無料で使えるか交渉中
--	---

3. 応募事業のスケジュール等（2024年4月1日～2025年3月31日までの対象期間を明記する）

年月日	活動・事業内容など
2024年4月1日 ～10日 中旬	家畜小屋づくり告知 人員呼びかけ（SNS） 設計図完成 （通常業務の一環：ひよこ購入）
末 5月上旬	第一回 家畜小屋づくり（設計図の共有と基礎工事） 第二回 家畜小屋づくり（基礎づくり） （ヤギ搬入）
中旬	講師への依頼/会場予約
下旬	第三回 家畜小屋づくり（下層部の天井張り）
6月上旬	第四回 同上（上層部壁面・はしご作成） チラシ作成・印刷 / 広報開始（西蒲区の小中学校への広報+SNSでの発信）
中旬	第五回 家畜小屋づくり（上層部完成） イベント内容の打合せ・スタッフ顔合わせ
下旬	第六回 家畜小屋づくり（仕上げ作業）
8月上旬	イベント当日の動きについての打合せ/事前準備
中旬	イベント開催①/反省会
9月中旬	イベント開催②/反省会
2025年2月上旬	イベント打合せ・スタッフ顔合わせ/事前準備
中旬	イベント開催③
3月上旬	報告書の作成/アンケート集計

4. 応募事業の収支計画

支出

事業費項目	金額 (円)	内訳 (単価、人数、数量、回数等の明細を記入)
① 物品・資材購入費	28063 円	調理器具 (こし器 ¥1430×2 コ、ヘラ ¥108×3 本、オープン ¥7240×1 台) 軍手 (子供用 5 組 ¥1100、大人用 5 組 ¥2099) つなぎ (大人用 ¥3500×2 着) ひよこ購入費 (10 羽 ¥3000) ブルーシート (資材保護用 3.6m x 5.4m ハトメ ¥1,480×3 枚)
② 業務委託費	36000 円	木材の運搬 (¥10,000×3 回) ※ガソリン代込み 送迎手数料 (¥2000×3 回) ※ガソリン代込み ヤギ運搬費 (¥15000) ※高速代往復 ¥4460 + ガソリン代
③ 講師謝金・研修費	45000 円	団体の農業指導 1 名 (¥5000×3 回) セミナーの講師 1 名 (¥10,000×3 回)
④ 印刷費	20313 円	イベントの告知カラーチラシ (A4 光沢 100 枚 ¥999×5 コ)、 セミナー用レジュメ作成 (A4 普通紙 500 枚 ¥348×1 コ) (インク canon361・360 ¥4990×3 コ)
⑤ 旅費交通費	5000 円	指導者・講師交通費 (実費)
⑥ 通信費	円	
⑦ 事務・消耗品費	47237 円	バター (1 箱 ¥567×3 回) 小麦粉 (1 kg ¥298×3 回) ブレンドイースティック (1 箱 ¥1138) 手指消毒液 480ml. (1 箱 ¥504) ヤギオーツヘイ飼料代 (20 kg ¥4000×8 コ) 鶏発酵飼料代 (12 kg ¥3800×5 コ)
⑧ 機材・施設等賃借料	15000 円	セミナー室借用料 (1 日 ¥5000×3 回)
⑨ 改修費	51758 円	家畜小屋用建材 (杉構造用合板 ¥2180×20 枚) 家畜小屋用金具・ビス (ビス 50mm 1000 本 ¥1480×1 箱、 6.5mm 500 本 ¥1480×2 箱、蝶番 64mm ¥248×4 組、ステン レス内掛け ¥1309×2 組、横掛け金 ¥1859×2 組) マキタ ランダムオービットサンダー 125mm ¥12600×1 台
⑩ 雑費	3360 円	ボランティア保険料 20 名まで 1 日 ¥560×6 日分
合計	251731 円	

収入

項目	金額 (円)	内訳 (計算根拠)
① 本助成金	200000 円	上限 30 万円。2. 応募事業の内容、助成金申込金額と一致していること。支出合計×80%以内になっていること。
② 他の助成金	0 円	他の助成金等の名称・金額 (申請中も含む) ()
③ 本事業の収入 (見込み)	36600 円	参加費収入、売上など (鶏卵 1 パック ¥480×45 コ = ¥21600) (参加費 1 人 ¥500×30 人 = ¥15000)
④ 寄付金	10000 円	
⑤ その他の収入	5131 円	団体自己資金
合計	251731 円	

提出物チェック表とアンケート

チェック表

書類名	部数	申請者 チェック欄 <input checked="" type="checkbox"/>	財団事務局 チェック欄
NPO等地域活動団体助成2024年度応募申込書	1	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり（必須）	
定款、会則又は規約の写し	1	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり（必須）	
直近の事業年度の決算書 ※事業年度が3月末ではなく2023年度の決算が 終わっていない場合は、「直近」ですので、2022 年度決算書を添付してください。	1	<input type="checkbox"/> 提出あり <input checked="" type="checkbox"/> 活動開始後1年未満で 決算未到達のため添付な し	
見積書 ※10万円以上の物品・資材購入費、業務委託費、 機材施設等賃借料などがある場合、添付してくださ い。	1	<input type="checkbox"/> 提出あり <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	
役員名簿※住所は不要、氏名のみ名簿	1	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり（必須）	
パンフレット、会報など※上限3点まで	1	<input type="checkbox"/> 提出あり <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	

アンケート※記載いただいた内容は選考とは一切関係ありません。

本助成金の情報をどこで お知りになりましたか？ (複数回答可 <input checked="" type="checkbox"/> をつけて ください)	<input type="checkbox"/> ろうきん財団のウェブサイト <input type="checkbox"/> 新潟県労働金庫の本支店 <input type="checkbox"/> ろうきん財団 からのハガキ <input type="checkbox"/> 県内の中間支援組織からの会報やメーリングリスト、SNS 等 <input type="checkbox"/> 市町村の市民活動等担当課からのお知らせ <input checked="" type="checkbox"/> 知人からの情報提供 <input type="checkbox"/> その他 ()
本助成制度を選んだ理由 を記入ください。	助成申請条件が活動1年目の団体にも寛容で、助成金額の上限と事業のスケ ール感がマッチしていたため。また、当事業は地方創成の文脈で求められて いる事業であり、助成対象としてよく当てはまっていると考えたため。